

広島県におけるシダ植物の分布*

松村雅文¹⁾・井上尚子²⁾

Distribution of the Pteridophyta in Hiroshima Prefecture *

Masafumi Matsumura¹⁾ and Naoko Inoue²⁾

Summary

1. 313 taxa of Pteridophyta were recorded from Hiroshima Prefecture, Japan.
2. Distribution maps of the 313 taxa of Pteridophyta in Hiroshima Prefecture were edited.
3. *Monachosorum flagellare* × *M. makimowiczii*, *Asplenium boreale* × *A. oligophlebium* var. *oligophlebium*, *Dryopteris* × *hakonecola* and *Thelypteris angustifrons* × *T. cystopteroides* were recorded for the first time in Hiroshima Prefecture.

はじめに

広島県におけるシダ植物の分布については、故竹田孝雄先生が17年間調査研究し、竹田(1987)にまとめた。松村は生前の竹田先生から調査を引き継ぐように依頼され、それに応じて現在まで調査を継続している。竹田(1987)以後、広島県新産種及び新産地が多数明らかになる一方で、河川工事や植生遷移のために消滅した産地がある。松村はこれらの新知見を、5年前に自家出版の冊子にまとめ(松村2010)、その後も新たに採集した情報を追加して資料を充実させてきた。今回、竹田(1987)と松村(2010)の資料に広島市植物公園の標本を追加し、広島県に自生するシダ植物26科313種類(235種15変種63雑種)の分布についてまとめた。コンテリクラマゴケ、トクサ、タマシダ、トキワシノブ、アスヒカズラなど、栽培種または逸出種と推測された種については竹田(1987)同様、とりあげなかった。連続する変異がみられる変種については竹田(1987)はとりあげていたが、今回はこれらを母種と区別しない「日本のシダ植物図鑑」の見解に従った。竹田(1987)が「参考資料」として記載したヒロハベニシダは、

今回は掲載しなかった。

凡例

1. 学名、和名および科、属、種の配列は岩槻(1992)に準拠したが、これにないものは「日本のシダ植物図鑑」(倉田・中池1979, 1981, 1983, 1985, 1987, 1990, 1994, 1997)に従った。これにもない場合は、注釈をつけた。
2. 「レッドデータブックひろしま2011」(レッドデータブックひろしま改訂検討委員会編2012)または「レッドデータブック2014」(環境省自然環境局野生生物課希少種保全推進室編2015)にリストされている種については、和名の後にそのカテゴリー区分を記した。
3. 近年の研究成果によって分類学的取り扱いが変わっている種については、注釈をつけた。
4. 分布図は、国土地理院発行の5万分の1地形図を基礎に、これを4等分した地域をもって、分布図の1点とした(図1)。メッシュ図の範囲で分布情報があるものに丸印を記入した。分布情報が竹田(1987)によるものは●、竹田(1987)以降

* Contribution from the Hiroshima Botanical Garden No.103

1) 広島市西区己斐東, 2) 広島市植物公園

Bulletin of the Hiroshima Botanical Garden, No.33: 7-135, 2016.